

十(じ)なみ

第134号

《ミッション》

私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

《ビジョン》

豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 横の里
いすみ学園

題字は 古屋明子 さんです。

保護者会の存在意義

いすみ学園 保護者会 会長 益田 英 則

9月は和暦では長月と称し、昼の時間が短くなり夜が長くなるので「夜長月」と呼ばれていたものが略されて、長月になったという説が有力で、秋の夜長に風流を楽しむという様子があつたのですが、今の日本、いや地球にはそのような風情はなくなり地球全体が思い病気に罹っているようです。

この夏も各地で異常な高温が続ぎ、熱中症患者が多発している異常事態です。このような厳しい環境下でも入所者が普段通り健全な生活ができていることは学園や職員の皆様のご苦労やご配慮のお陰だと心から感謝申し上げます。

令和6年12月、私たちのリーダーであり大黒柱であつた谷島会長の突然のご逝去により、後任の会長を引き受けしましたが、私にとつては青天の霹靂でありました。何もできない、分からないままで、会長を引き受けして良いかどうか随分悩みましたが、多くの皆様の手助けをいただき、会長をお引き受けするに至りました。

ご承知の通り谷島会長はいすみ学園創設時からのメンバーであり、現在の基礎を築いた方であり、その功績は大変大きいものがあります。そのような偉大な先人と同じようにはいきませんが、人にはそれぞれ身の

程というものがございます。とにかくできることからベストを尽くすという考え方で進めて参ります。保護者会の究極の目的は入所者である私たちの大切な子、兄弟、姉妹、親戚の人々が心穏やかに、人間らしく生活ができる環境を整えることにあると考えています。そのためのサポートを学園と協力して行っていくことが何より大事と考えます。

月日の流れはある意味残酷です。人は年々歳をとり老化していきます。入所者もその例にもれず高齢化していきます。高齢化対策を含めて、入所者の日々の穏やかな生活を守るべく、保護者会としても最大の努力をしてまいる所存です。ぜひ今後ともよろしくご協力いただけますようお願い申し上げます。

最後にいすみ学園を多方面よりご支援、ご協力をいただいております皆様方に、心よりの感謝を申し上げますとともに、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



保護者会よりテントを ご寄贈いただきました

このたび、いすみ学園保護者会より大型テントをご寄贈いただきました。心より御礼申し上げます。今回ご寄贈いただいたテントは、従来のものと比べて設営がしやすく、テントを張る際の作業が大幅に省力化されました。行事や活動の準備にかかる職員の負担も軽減され、大変助かっております。また、日差しや雨を避けながら活動できる環境が整い、利用者の皆さんがより快適に過ごせることも期待されます。保護者の皆様からの温かいご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後もさまざまな行事や活動の場で大切に活用させていただきます。

(事務長 長沼 毅)



(3.0m×4.5m) 2台

(3.6m×5.4m) 6台



皆で、はいチーズ



いただきます～

万木班のボーンナス外出では、久しぶりにヴィラそとぼうに出掛けました。広々とした店内でランチバイキングを楽しみ、一人ひとりが好きな料理を選び、美味しそうに味わっていました。当日は地域活動班も同じ会場で食事をしており、作業班同士で自然と交流が生まれ、和やかな時間を過ごしました。利用者の皆さんにとって、楽しい外出となりました。

(支援員 高地優輔)

万木工舎



昼食後、あられちゃん家にて



上寿司セットを堪能

文化活動班のボーンナス外出のアンケートでは、「お寿司」が一番多く希望がありました。初めてのお店のすしめん処大京土気店へランチに行きました。上寿司ランチに皆さん大満足の様子。買い物をしたい希望の方は、日用品などを購入に行きました。テレビでも話題で出ていた「あられちゃん家」のおせんべい直売店にておやつタイム。ソフトクリームやおせんべいなどを自分で選び食べました。班の仲間と日頃の労をねぎらい、「楽しかった。美味しかったお寿司など。」という感想が多くありました。笑顔溢れるボーンナス外出となりました。

(支援員 會津みどり)

文化活動班



熊野の聖水にて



早く食べたいな～

まずは学園のデイルームで恒例のボーンナス授与式。「お疲れ様」の一言と共に一人ひとり順番にボーンナスを受け取った後、マイクロバスで市原市にあるシヨッピングセンター「ユニモ」に出かけました。事前のアンケートでランチメニューの希望が様々でしたが、フードコートで希望のメニューを注文し皆大満足。帰り道に「熊野の聖水」に立ち寄り緑一杯のマイナスイオンをたっぷり浴びて、また明日からの活力となりました。

(支援主任 岩瀬祐三子)

加工班



高瀧神社にて



足湯でのんびり～



石鯨班は高滝湖観光に出かけました。高滝ダム記念館レストランで景色を眺めながら昼食、高瀧神社を参拝し、湖に浮かぶ大鳥居をバックに記念撮影、養老溪谷駅で足湯も楽しみました。幸い、梅雨の晴れ間となり、緑豊かな自然の中の外出を満喫してきました。

(支援員 是枝志津子)

石けん班



一宮海岸にて



今年度から、新しい仲間として後藤龍司さんが加わり夏のボーンナス外出を行いました。利用者皆さんに、ボーンナスを渡してまずはドライブに行きました。その後昼食場所のいすみ市内「かねよ食堂」に向かいました。事前にアンケートを配りそれぞれの希望メニューを聞き取り好きな物を食べました。皆さんとてもおいしそうに食べていました。

食後は「一宮海岸」にて集合写真を撮りおやつを食べ、楽しい思い出がまた一つ出来ました。

(支援員 長田 圭司)

外作業班

地域活動班

学園で仕事を頑張ったご褒美としてボーナスが支給され、日頃の疲れを癒すためにドライブへ出掛けました。昼食は「ヴィラそとぼ」を訪れ、バイキングを楽しみました。お肉やカレーライス、唐揚げ、ラーメン、スイーツなど思い思いのメニューをお腹いっぱい食べ皆さん大満足の様子でした。食後はゆっくりとお風呂に入り、1日通して楽しい「ボーナス外出」となりました。日頃の疲れもすっきりと癒されたようです。

(支援員 金城正直)



ヴィラ外房にて



バイキングで好きな物盛沢山

グループ実習班

今年の夏のボーナス外出はマザー牧場に行きました。ボーナス外出当日は生憎の雨。しかし、現地に到着すると雨は止み、曇天ではありましたが園内に突入しました。まず「ふれあい牧場」と「うさモルハウス」で動物とふれあい、観覧車に乗って牧場の風景を堪能しました。昼食はカフェ&ジンギスカンで好きなものを食べ、最後はアクロドームで「シープショー」をゆっくりと楽しみました。お天気は雨でしたが、悪天候にも負けず、とても素敵な1日となりました。

(支援員 大木崇司)



マザー牧場にて



大好物に、にんまり

班旅行

石けん班

7月16日〜17日に班旅行で栃木県へ出かけました。佐野SAで昼食をとり、東照宮で記念写真を撮影した後、塩原温泉へ向かいました。宿泊先では大浴場で入浴し、夕食では鍋やステーキ、川魚の炭火焼き、蒸し物、デザートなどを楽しみました。2日目は和食の朝食後、あしががフラワーパークへ移動し、花やお土産を楽しみながら昼食をとりました。その後、園内の花を觀賞して学園へ帰りました。天候により帰路を迂回するなど大変な場面もありましたが、

加工班

静岡清水・西伊豆の旅へ行って来ました。あいにく梅雨と台風が重なり終日雨。

昼食はマグロの町の寿司横丁にてお寿司を食べました。

昼食後、一番の目的駿河湾フェリーに乗船し西伊豆・土肥へ。富士山を眺めることはできませんでしたが、野生のイルカが遠くに泳ぐ姿が見られました。宿泊は伊東園ホテル土肥。温泉やバイキングはもちろん、カラオケやゲームセンターなども楽しんでました。翌日は土肥金山を見学し、三島で有名なハンバーグ屋さ

皆で楽しく2日間を過ごすことができました。

(支援員 岸添有哉)



皆で、いただきま〜す



土肥金山にて

んで昼食。いつも共に働く仲間と楽しい時間を過ごし、またお仕事がんばろう!と誓い帰園しました。

(支援員 祖一陽子)



つい、夢になっちゃう瞬間



駿河湾フェリー乗り場にて



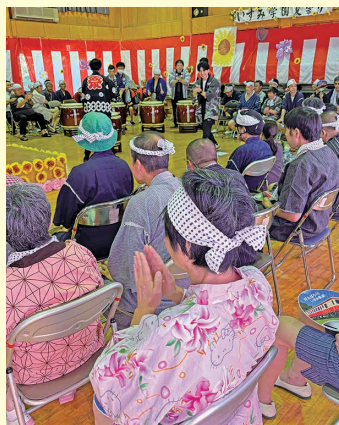
日光東照宮にて



あしががフラワーパークにて



皆で盆踊り



夏祭りスタート

今年の夏祭りは、皆さまが安全に楽しめるよう全編室内で開催いたしました。涼しい環境の中、初の試みである「オリジナルうちわ作り」では、遊び心あふれるオリジナルシールを使って利用者様が思い思いの作品を仕上げ、たくさんの方の笑顔が見られました。

また、太鼓クラブの力強い演奏や盆踊りなど、全員参加型の催しも大いに盛り上がりました。冷たいかき氷も大好評で、夏ならではの活気と喜びに満ちた一日となりました。

開催にあたりご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。
(支援員 奥野 貴成)



オリジナルうちわ作り



冷やしきゅうり最高!



轟く大太鼓の音色

今年の花火大会は、担当の田辺統括主任を中心に大きく盛り上がり、トップガンの曲が流れる中、花火点火担当の大木支援員と海老澤支援員が息を合わせて点火。音楽と花火が一体となり、会場全体が熱気に包まれました。リズムよく打ち上がる花火の轟音、夜空を勢いよく彩る光の瞬間、そして漂う煙の香り―そのすべてが夏の訪れを感じさせてくれました。ナイアガラのように流れ落ちる光、天高く吹き上がる花火。全225発の演目は、最後まで私達を魅了し続けました。保護者の皆様、毎年美味しいおやつと素敵な花火をありがとうございます。
(栄養士 大屋真理子)

花火大会



『四十文字のあるく道』
著 書 たきのえいじ
発行所 懶歌の手帖社

先日「四十文字のあるく道」という本を出版しました。いすみ学園のみなさんと出逢って感動したことや、私の日々の暮らしの中で感動したことを書きました。

今日を生きる為に、そして今日まで生きてきた事への感謝の本です。

いすみ学園のみなさんにページを開いて頂ければ幸いです。

(たきの えいじ)

たきのえいじ先生 出版紹介



たまや〜!!!



迫力満点!!



どんな花火が上がるか…ドキドキ

第三者委員 谷川陽子様退任

令和7年度末をもって、第三者委員の谷川陽子さんが退任されました。いすみ学園での「オンブズマン制度」とは、東京都が平成10年6月に実施を開始した「障害者入所施設サービス評価事業」におけるモデル施設として、いすみ学園が指定され導入されました。

この制度は施設職員以外の学識経験者等からなるサービス点検委員会（第三者委員会）を設け、都の評価基準に従い施設機能の点検評価と、利用者からの意見や苦情を処理し、入所者の生活の質の向上を図ることを目的としたものです。

谷川さんは、当初からの27年間の長きにわたり「虐待防止委員会」への貢献や「よろず相談会」においては利用者一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、寄り添い支えてくださいました。その温かい助言と誠実なお取り組みは、利用者とその家族に大きな安心と力をもたらし、いすみ学園の運営に欠かすことのできない大きな支えとなりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（サービス管理責任者 加茂正和）



『槇の里祭』 バザー品提供のお願い

皆様が楽しみにしているバザーを今回も体育館で行います。

ご家庭で眠っている不要なものがありましたらバザー品としてご寄付いただきますよう御協力お願いいたします。

【募集内容】

- ◎新品の食器・陶器類・台所用品・衛生用品
- ◎賞味期限内の食料品・調味料・缶詰など（生もの以外）
- ◎日用雑貨・文房具・寝具・石鹸類
- ◎書籍（絵本・漫画本・文庫本等）＝百科事典は不可
- ◎子供用品・おもちゃ・ぬいぐるみ・ゲームソフト（美品）
- ◎ハンドメイド・アクセサリ類
- ※衣類・靴・バッグなどは、新品もしくはそれに準ずる物に限らせていただきます。
- ※硝子に入った人形はお受けできません。

【受付期日】

10月17日（土）15時まで持ち込み可能

【お願い】

宅配便（元払）伝票には「バザー品」とご記入ください。

第39回槇の里祭

メインテーマ
～架け橋～

日時：令和8年10月31日（土）

時間：10:30～14:30

会場：いすみ学園園庭

※原則 雨天開催

・楽しいステージイベントやキッチンカー、模擬店が盛りだくさん！

・お楽しみ抽選会やバザーもお楽しみに！

※バザーは感染症対策及び混雑回避の為整理券を配布します。

P 駐車場：万木区民センター 送迎バスあり 9:45～

お問い合わせ：
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園
電話番号：0470-86-3412

いすみ学園 HP

いすみ学園 IG

詳細はこちら

ボランティア募集

ご一緒に槇の里祭を盛り上げてくださるボランティアの方を募集しています。

- ◎昼食・飲み物・粗品付き
- ◎ボランティアの時間：9時～15時頃まで。
- 参加ご希望の方は、氏名・年齢・住所・電話番号・来園方法を電話又はFAXにてお願いいたします。
- ◎締め切り：9月30日まで。
- 担当から後日確認のお電話をさせていただきます。



お申し込み先・お問合せ先 いすみ学園 TEL：0470-86-3412 FAX：0470-86-4935

令和 7 年度 社会福祉法人 槇の里 決算報告

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位: 円)

資産の部	
科 目	当年度末
流動資産	545,186,184
現金預金	462,981,513
事業未収金	74,500,487
未収金	4,090,184
未収補助金	3,548,000
1年以内振替長期前払費用	66,000
固定資産	751,005,331
基本財産	321,406,667
土地	108,353,723
建物	213,052,944
その他の固定資産	429,598,664
建物	39,579,369
構築物	25,602,537
車両運搬具	1,396,085
器具及び備品	20,116,028
権利	111,300
ソフトウェア	4,407,883
退職給付引当資産	30,401,752
人件費積立資産	32,000,000
修繕費積立資産	19,000,000
施設整備等積立資産	215,300,000
自動車リサイクル預託金	9,550
建設積立資産	41,570,000
長期前払費用	38,500
その他の固定資産	65,660
資産の部合計	1,296,191,515
負債の部	
科 目	当年度末
流動負債	49,540,584
事業未払金	14,382,203
その他の未払金	4,090,184
職員預り金	4,113,197
賞与引当金	26,955,000
固定負債	31,471,752
退職給付引当金	30,401,752
役員退職慰労引当金	1,070,000
負債の部合計	81,012,336
純資産の部	
科 目	当年度末
基本金	276,311,079
基本金	276,311,079
国庫補助金等特別積立金	141,462,898
国庫補助金等特別積立金	141,462,898
その他の積立金	307,870,000
人件費積立金	32,000,000
修繕費積立金	19,000,000
施設整備等積立金	215,300,000
建設積立金	41,570,000
次期繰越活動増減差額	489,535,202
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	489,535,202 36,803,441
純資産の部合計	1,215,179,179
負債及び純資産の部合計	1,296,191,515

資金収支計算書

自 令和 7 年 4 月 1 日 ~ 至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位: 円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	516,149,000	517,824,108	▲1,675,108
		経常経費寄附金収入	5,615,000	6,175,063	▲560,063
		受取利息配当金収入	1,122,000	1,161,333	▲39,333
		その他の収入	16,572,000	17,996,993	▲1,424,993
		事業活動収入計	539,458,000	543,157,497	▲3,699,497
	支出	人件費支出	330,869,000	335,342,265	▲4,473,265
		事業費支出	78,980,000	79,207,647	▲227,647
		事務費支出	78,700,000	78,922,695	▲222,695
		事業活動支出計	488,549,000	493,472,607	▲4,923,607
	計	事業活動資金収支差額	50,909,000	49,684,890	1,224,110
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,370,000	3,548,000	▲1,178,000
		固定資産売却収入	900,000	900,000	0
		施設整備等収入計	3,270,000	4,448,000	▲1,178,000
	支出	固定資産取得支出	19,055,000	19,192,925	▲137,925
		施設整備等支出計	19,055,000	19,192,925	▲137,925
		計	施設整備等資金収支差額	▲15,785,000	▲14,744,925
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	11,100,000	13,942,116	▲2,842,116
		その他の活動による収入	205,000	224,700	▲19,700
		その他の活動収入計	11,305,000	14,166,816	▲2,861,816
	支出	積立資産支出	37,389,000	37,393,840	▲4,840
		その他の活動支出計	37,389,000	37,393,840	▲4,840
		計	その他の活動資金収支差額	▲26,084,000	▲23,227,024
	予備費支出		9,040,000	0	9,040,000
当期資金収支差額合計		0	11,712,941	▲11,712,941	
前期末支払資金残高		510,821,659	510,821,659	0	
当期末支払資金残高		510,821,659	522,534,600	▲11,712,941	

事業活動計算書

自 令和 7 年 4 月 1 日 ~ 至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位: 円)

科 目		当年度決算
サービス活動増減の部	収入	
	障害福祉サービス等事業収益	517,824,108
	経常経費寄附金収益	6,175,063
	その他の収益	17,956,993
	サービス活動収益計	541,956,164
費用	人件費	334,074,989
	事業費	79,207,647
	事務費	78,922,695
	減価償却費	28,492,020
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲13,218,599
計	サービス活動費用計	507,478,752
	サービス活動増減差額	34,477,412
サービス活動外増減の部	収入	
	受取利息配当金収益	1,161,333
	その他のサービス活動外収益	40,000
	その他の収益	224,700
	サービス活動外収益計	1,426,033
費用	サービス活動外費用計	0
	サービス活動増減差額	1,426,033
経常増減差額		35,903,445
特別増減の部	収入	
	施設整備等補助金収益	3,548,000
	固定資産売却益	899,999
	特別収益計	4,447,999
	固定資産売却損・処分損	3
費用	国庫補助金等特別積立金積立額	3,548,000
	特別費用計	3,548,003
計	特別増減差額	899,996
	当期活動増減差額	36,803,441
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	476,631,761
	当期繰越活動増減差額	513,435,202
	その他の積立金取崩額	11,100,000
	その他の積立金取崩額	35,000,000
	次期活動増減差額	489,535,202

この本は 2023 年頃からの生成 AI の実例が紹介されています。生成 AI と共に歩む新しい生き方の例を具体的に提示されており、読んでいて、とてもワクワクしました。

生成 AI は記録作成や情報整理だけでなく、利用者一人ひとりに合った支援方法を考える手助けにもなることを学びました。支援者の負担が減ること、利用者との向き合う時間、寄り添う時間を増やせる点が印象に残り、福祉のありかたを大きく変える希望だと感じました。また一方で、AI は便利でも、本人の思いや表情、生活背景を理解できるのは支援者だからこそできる事だと感じました。利用者の失敗も成長の契機と捉え、苦悩や葛藤を共有しながら環境の壁を共に乗り越える姿勢こそ、AI 時代のソーシャルワークの鍵だと思いました。AI と人がそれぞれの強みを生かして協力することで、より良い障害者支援に繋がると良いと感じました。

(支援員 海老澤裕)

『生成 AI で変わる障害者支援の新しい形ソーシャルワーク 4.0』を読んで



図書コーナー



感謝録

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附金〕

・三上房芳・中村ヤエ子・斎藤昇・斎藤嘉津代・川島竜一

〔寄附物品〕

・堀口賢二・真行寺一夫・井田勝彦・野川信太郎・皆川会計事務所・(有)田丸土建・濱田奈緒美・阿部栄子・兼田道夫・(株)エヌ・シー・アイ・社会福祉法人菜の花会・敬愛短期大学・鈴木順子・(有)田辺印刷・(有)石野薬局・平なおこ・矢牧久明・長生厚生園・せきぐち整骨院・川上郡子・森周一・(有)岬サード・池田博樹・松本設備工業(有)・みどり産業(株)・苦米地里香・江澤正利・(株)新清ハイツ・内山重浩・伊藤晴子・いすみ鉄道(株)・(株)ビーアイエー・伊津野佐知子・(株)大洋・西村浩樹・山崎泰子・(株)トーエイ・(株)トレジャータウン・やまよ農園・松島弘美・伊藤幸子・(株)第一興商・中村沙紀・竹内詠子

計報

令和 8 年 8 月 31 日、設立当初より長きにわたり入所されていた前田文子さんが逝去されました。ここに謹んでご報告申し上げます。

職員を代表して、課長補佐・鈴木典子より追悼の言葉を申し添えます。

「40 年以上の学園生活の中で、四季折々の喜びを見つけながら豊かに暮らした彼女。お花や動物を愛し、心を込めた贈り物と印象的な笑顔で、周囲を幸せにしてくれました。」

故人の生涯を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。」